

平成29年度第1次募集（平成28年10月入学含む）
新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学者選抜試験問題

一般入試

環境科学
災害環境科学

E6

専門科目

注意事項

- 1 この問題冊子は，試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題冊子は，表紙を含めて全部で3ページある。
- 3 解答は，すべて解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 受験番号は，各解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
ただし，解答用紙がたりない場合は，裏面を使用すること。
- 5 解答時間は，120分である。
- 6 下書きは，問題冊子の余白を使用すること。

平成29年度第1次募集（平成28年10月入学含む）
新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学者選抜試験問題

一般入試

環境科学
災害環境科学
E6

以下から2題を選択して解答せよ。

なお、選択した問題番号を解答用紙の問題番号欄に記入すること。

I 「第四紀」について、下記のすべての用語を必ず用いて600字程度で説明せよ。ただし、同じ用語を複数回使用してもよい。

用語：260万年、氷期、間氷期、酸素同位体、海水準、縄文海進、下末吉面

II 「地震災害」について、下記のすべての用語を必ず用いて600字程度で説明せよ。ただし、同じ用語を複数回使用してもよい。

用語：東北地方太平洋沖地震、兵庫県南部地震、関東大震災、新潟県中越地震、津波、火災、建物倒壊、災害誘因、災害素因

III 火山噴火やラハール（火山泥流）に関する次の問1、問2に答えよ。

問1 火砕流が発生する様式は複数ある。それぞれについて、発生の過程と火砕流堆積物の特徴、分布の傾向について、下記の全ての用語を必ず用いて400字程度で説明せよ。ただし同じ用語を複数回使用してもよい。また、図を用いても構わない。

用語：噴煙柱崩壊型、溶岩ドーム崩壊型、大規模火砕流、プリニー式噴火、カルデラ、co-ignimbrite ash、広域テフラ

（問2は3ページにあり）

平成29年度第1次募集（平成28年10月入学含む）
新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程入学者選抜試験問題

一般入試

環境科学
災害環境科学

E6

問2 露頭スケールで見られる火砕流堆積物は降下火砕堆積物やラハール堆積物と、どのような点において異なり識別できるかを、下記の全ての用語を必ず用いて300字程度で説明せよ。ただし同じ用語を複数回使用してもよい。また、図を用いても構わない。

用語：地形、淘汰、円磨、高温